

同志社法学

総目次

第四〇卷

自第二〇一  
至第二〇六号

論 說

	卷	号	頁
法実証主義における「法と道徳分離論」と「源泉テーゼ」(一)	深田三徳	一(二〇二)	一(一)
法に対する服従義務の哲理(一)	海原裕昭	一(二〇二)	一三(一三)
法実証主義における「法と道徳分離論」と「源泉テーゼ」(二)	深田三徳	二(二〇二)	一(一六三)
法に対する服従義務の哲理(二・完)	海原裕昭	二(二〇二)	一九(一八一)
韓国における地方自治法の改正	西尾 昭	三(二〇三)	一(三五五)
法実証主義における「法と道徳分離論」と「源泉テーゼ」(三)	深田三徳	四(二〇四)	一(四七五)
精神科医と法律家の距離	大谷 實	五(二〇五)	一(六〇五)
国際私法における動産物権	岡本善八	六(二〇六)	一(六九九)

研究ノート

ECの政策決定過程における常駐代表委員会の役割に関する一考察(一)	鷲江義勝	一(二〇二)	五四(五四)
ヨーロッパ人権条約における効力停止条項に関する一考察	朴 洪吉	二(二〇二)	四三(二〇五)

ECの政策決定過程における 常駐代表委員会の役割に関する一考察(一)	.....	鷲江義勝	四〇	二(二〇二)	七一(二三三)
近代中央集権的国家権力形成の先駆(一)	.....	河野秀寿命	四〇	四(二〇四)	一七(四九一)
——絶対王政期を主として——					
近代中央集権的国家権力形成の先駆(二)	.....	河野秀寿命	四〇	五(二〇五)	一八(六二二)
——絶対王政期を主として——					
刑法改正と違法性の錯誤(一)	.....	松原久利	四〇	六(二〇六)	四四(七四二)
近代中央集権的国家権力形成の先駆(三)	.....	河野秀寿命	四〇	六(二〇六)	七七(七七五)
——絶対王政期を主として——					
フランス第五共和国における “合理化された議員制”の構造とその改革(上)	.....	勝山教子	四〇	六(二〇六)	一一六(八一四)

### 判例研究

背任罪にいわゆる任務違背の 行為に当たるとされた事例	.....	奥村正雄	四〇	三(二〇三)	二九(三八三)
「イリノイ州対クルール」事件	.....	松岡武彦	四〇	三(二〇三)	四四(三九八)
百円紙幣を模造する行為につき違法性の意識の 欠如に相当の理由がないとされた事例	.....	松原久利	四〇	五(二〇五)	六〇(六六四)

### 資料

丹後田辺藩裁判資料(五).....	裁判史研究会 (井ヶ田良治)	四〇	一(二〇一)	八七(八七)
アルビン・エーザー 人間遺伝学の領域における刑法的保護の諸側面.....	上田健二(訳)	四〇	一(二〇二)	一二八(一二八)
丹後田辺藩裁判資料(六).....	裁判史研究会 (井ヶ田良治)	四〇	二(二〇三)	一一〇(二七二)
G・アペール 「日本におけるフランス法の影響について」.....	村上一博(訳)	四〇	二(二〇四)	一六〇(三二二)
G・ボアソナード 日本の新法典.....	村上一博(訳)	四〇	三(三〇三)	六五(四一九)
——法律家の意見書および議会の反対論に対する反駁——				
アルトゥール・カウフマン バイオテクノロジーとバイオエシックス についての法哲学的考察.....	上田健二 竹下賢(訳)	四〇	四(二〇四)	四八(五三二)
——西暦二千年代を前にして——				
Japan Weekly Mail (明治二五年) 掲載の無署名論文 「新法典と旧慣」(上).....	村上一博(訳)	四〇	四(二〇四)	八七(五六一)
韓国の行政手続法案(訳).....	西尾昭	四〇	五(二〇五)	七六(六八〇)